

事業番号	10 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材の利用を促進する事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室	
		実施期間	S60 ~	E-mail	mokuzai @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

令和3年度民有林森林資源（蓄積）は、139,000千m<sup>3</sup>で、着実に充実しつつあり、県外合板工場（R3年素材生産量：合板用207千m<sup>3</sup>）やバイオマス発電等の需要増加（R3年素材生産量：バイオマス用165千m<sup>3</sup>）に伴い、素材生産量は541千m<sup>3</sup>（H29）から625千m<sup>3</sup>（R3）へ増加した。

一方で、県内の製材品出荷量は、新設住宅着工数に占める木造率が74.1%（H29）から76.3%（R3）と伸びない中で、116千m<sup>3</sup>（H29）から109千m<sup>3</sup>（R3）へ減少している。

こうした中、品質の確かな県産材製品を製造し、今後需要の拡大が見込まれる非住宅分野への活用に加えて、県産材製品等の利用拡大を通じて、地域へ利益を還元することが求められている。

また、いわゆるウッドショック等の社会情勢に左右されにくい木材供給体制の構築が求められており、県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に係る事業者への支援や川上から川下までの事業者同士の水平・垂直連携を支援することで、安定的な県産材の供給体制の構築を図る必要がある。

### 2 事業目的

森林資源の有効活用により地域内経済循環を促進するとともに、県産材の付加価値向上・普及啓発や安定的な県産材供給体制の構築を通じ、県産材の利用促進を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

**① 県産材製品の需要拡大**

- ・県産材の普及啓発を図るため、民間施設・公共施設等における木造木質化を支援
- ・暮らしに木を取り入れる等の「ウッドチェンジ」の取組を推進するため、県産材製品の魅力向上や需要拡大に繋がる取組を支援
- ・県内産ペレットの消費拡大を図るため、個人向けペレットストーブの導入を支援

**② 木材産業の振興**

- ・県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進を図るため、木材加工施設や木質バイオマス利用促進施設等の整備を支援
- ・木材産業の事業者が運転資金を確保できるよう、低利子での融資を実施

**③ 安定的な県産材供給体制の構築**

- ・県産材製品を加工する事業者同士の水平連携や川上から川下までの事業者同士の垂直連携を構築するため、信州ウッドコーディネーターを派遣



県産材製品の開発



木材加工施設



信州ウッドコーディネーター

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由	
			実績		実績	推移	実績	推移				
①	木造木質化の箇所数	箇所	16		11	↘		7	↘	11	未達成	森林づくり県民税基本方針においてモデル的な木造施設等を地域毎に創出することにより森林づくり県民税の認知の向上につながるように、5年間に55箇所にすることが長期目標であるため、11箇所を目標とする。
②	製材品出荷量	千m <sup>3</sup>	109		104	↘		87	↘	114	未達成	製材品需要の伸び率を考慮して設定した。
③	新たな水平・垂直連携体制の構築	件	-		1	—		2	↗	2	達成	連携体制の構築は、着実なコーディネーター活動が求められることから、木材加工事業者同士の水平連携や川上から川下までの顔が見える供給体制（垂直連携）の構築連携2件を目標とする。

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1④	成長産業の創出・振興	★林業産出額(うち木材生産)	百万円	2020 (R2)	5,209	2021 (R3)	7,413	2022 (R4)	8,790	2027 (R9)	7,170
2-1④	成長産業の創出・振興	木材生産量	千m <sup>3</sup>	2021 (R3)	625	2022 (R4)	629	2023 (R5)	629	2027 (R9)	830

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R5年度	80,600	486,361	264,430	831,391	8,797	19.7
R4年度	28,140	504,513	25,807	558,460	8,579	16.6
R3年度	0	607,375	△ 17,712	589,663	9,048	17.2

事業番号	10 03 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県産材の利用を促進する事業		部局	林務部	課・室	県産材利用推進室

## 7 主な取組実績と成果

### ① 県産材製品の需要拡大

- ・県産材の普及啓発を図るため、民間施設・公共施設等における木造木質化による事業を実施した結果、7箇所において、木造・木質化を行うことができた。
- ・県産材製品の開発及び販路開拓等を行った事業者9者に対して補助事業を実施した結果、木製工作キットやサウナ等の新たな県産材製品を開発することができた。
- ・個人でのペレットストーブ導入支援を行う26市町村に対して、補助事業を実施した結果、71台のペレットストーブの導入を行うことができ、信州産ペレットの消費拡大につながった。



### ② 木材産業の振興

- ・県内の木材加工施設への機械導入1台支援し、木材産業の競争力強化を図った。
- ・木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器を9台導入し、木質バイオマスの需要拡大を図った。
- ・木材産業の育成強化のため運転資金を低利融資で行うための原資として、178,000千円を市中銀行3行へ預託。事業者1者に対して20,000千円の貸付実績。

### ③ 安定的な県産材供給体制の構築

- ・8人の信州ウッドコーディネーターを配置し、都市部自治体等への県産材製品のPR、商談の場の創出等に加えて、県内木材加工者同士の連携体制（水平連携）の構築支援や川上から川下までの連携体制（垂直連携）の構築支援を行うとともに、地域における木質バイオマスの循環利用の仕組みづくりに必要な施策等への助言を行った。

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	木造木質化の箇所数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
建築の資材高騰等の影響を受け、建築計画の見直しが必要となる等の要因により、県内の木造木質化の箇所数は11件（R4）から7件（R5）へ減少した。							
指標②	製材品出荷量	R4年度推移	↘	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
県内の新設木造住宅着工戸数が減少したため（R4:8,769戸、R5:8,273戸、496戸減）、製材品出荷量が104m <sup>3</sup> （R4）から87m <sup>3</sup> （R5）へ減少した。							
指標③	新たな水平・垂直連携体制の構築	R4年度推移	—	R5年度推移	↗	達成状況	達成
信州ウッドコーディネーターの働きかけにより、素材生産を担う団体と県内の製材工場が連携して、住宅関連団体の会員へ県産材製品を供給する体制を構築した。また、県内の森林組合と県内の製材工場が連携して、都市圏の駅ビル建設に県産材製品の供給を行った。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

品質の確かな県産材製品を製造し、今後需要の拡大が見込まれる非住宅分野への活用に加えて、県産材製品等の利用拡大を通じて、地域へ利益を還元することが求められている。

また、社会情勢に左右されにくい木材供給体制の構築が求められており、県産材の加工・流通、木質バイオマス利用促進に係る事業体への支援や川上から川下までの事業者同士の水平・垂直連携を支援することで、安定的な県産材の供給体制の構築を図る必要がある。

具体的な課題としては、信州ウッドコーディネーターがより効果的に活動できるように、県産材製品に関する情報の収集・解析・発信を必要とする。また、引き続き、一般県民等が木を暮らしに取り入れる意識の醸成を図っていくことが必要である。

木材産業循環成長対策事業においては、木材加工施設整備の補助要件にJASの取得があり、小規模事業者には大きな制約となっている。

### (2) 事業改善の方策

・ホームページ等で県産材製品を扱う事業者に関する情報を掲載する等、信州ウッドコーディネーターがより効果的に活動できるような体制の構築を図る。

・ウッドチェンジ普及促進支援事業においては、新たにテーマ優先型を設け、地域や時代のニーズに応じた製品開発・販路開拓を推進することで、木を暮らしに取り入れる意識の醸成の浸透を図る。

・木材産業循環成長対策事業においては、国庫補助事業となるため、林野庁へ要件緩和等の要望をしていくとともに、事業者から課題を聞き取りながら、現状でも対応できる支援策の検討を図る。

事業名	<b>県産材の利用を促進する事業</b>	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	----------------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>1</b>	<b>あたりまえに木のある暮らし推進事業</b>	56,834 千円	44,754 千円	10,317 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	広く県民が利用する施設等の木造・木質化	補助金 直接	民間施設等の木造・木質化等の支援 県有施設の木造・木質化等の推進 民間施設等への支援 4 箇所、県有施設の推進 3 箇所	
2	木工体験の推進支援	補助金	子どもが行う木工教室、木工工作に関するコンクールの開催を支援 木工教室 6 回、木工工作に関するコンクール 1 回	
3	長野県産材CO2固定量認証	直接	木材のCO2固定効果が地球温暖化防止に貢献することをPRするため、県産材住宅等のCO2固定量の認証と制度の普及啓発を行う。 認証数 4 件 29.6t-CO <sub>2</sub>	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>2</b>	<b>信州の木と住まいの総合対策事業</b>	33 千円	148 千円	231 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	普及啓発経費支援	直接	県産材の利用促進を図るため、建築士など施工者側への普及啓発を実施 指標なし	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>3</b>	<b>ウッドチェンジ普及促進支援事業</b>	0 千円	9,610 千円	11,999 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県産材製品の魅力向上や普及啓発に繋がる取組を支援	補助金	ウッドチェンジに資する県産材製品の開発や販路拡大等に係る事業に対して補助金を交付 支援対象 9 者	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>4</b>	<b>木質バイオマス循環利用普及促進事業</b>	7,383 千円	6,389 千円	5,834 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	個人向けペレットストーブ導入支援と普及啓発	補助金 委託	木質バイオマスの利用拡大を図るため、県民のペレットストーブ購入支援及び木質バイオマスに係る普及啓発活動 県民のペレットストーブ購入支援 71 台、普及啓発活動 1 回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	木材産業循環成長対策事業	174,692 千円	95,102 千円	143,044 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	木材加工流通施設整備費 木質バイオマス利用促進施設整備費	補助金	木材産業の競争力強化を図るため、県産材の加工・流通と木質バイオマスの利用を促進する施設整備を支援 木材加工流通施設整備 1箇所、木質バイオマス利用促進施設整備 2箇所	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	地域木材産業活性化推進事業	267,432 千円	267,370 千円	267,393 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	木材産業等高度化推進資金貸付 農林漁業信用基金償還金	貸付金	木材産業の育成強化及び活性化を図るため、運転資金の低利の融資を実施 事業者1者20,000千円	
2	木材市況等調査	直接	木材産業の状況把握のために、木材市況調査、木材流通調査を実施 指標なし	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	ウッドもっとなぐ事業	5,662 千円	5,125 千円	6,996 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州ウッドコーディネーターの派遣とマッチングイベント等の開催	委託	信州ウッドコーディネーターを都市圏自治体や大手ビルダー、県内の製材工場等へ派遣、また、川上から川上までのつながりを強化するためのマッチングイベント等を開催 信州ウッドコーディネーター活動回数175回、イベント等の開催1回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
8	未利用材等活用システム構築支援事業	0 千円	0 千円	0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	未利用材等活用システム構築に向けた取り組みに対する支援	補助金 直接	繰越事業のため実績なし —	